

エコキャップやリングプルを海星生徒会に引き継ぐ
富岸小児童たち



エコキャップ115キ、リングプル30キ

4年以上集め託す

室蘭の高校生徒会に富岸小

登別市富岸小学校(安宅錦也校長、455人)の児童たちが16日、同校体育館で、海星学院高校(堺俊光校長、236人)の生徒会に、ペットボトルキャップ(エコキャップ)115キ、リングプル30キを引き継いだ。発展途上国支援などに役立てられる。

同小では4年前から玄関に収集箱を設置し、地域も巻き込みながらエコキャップを集めているほか、これ以前からリングプルの収集も行っている。4年分の引き継ぎ先を探していた。海星生徒会(大中一弘会長)は、キャップの売却益を発展途上国のワクチン支

援に充てるエコキャップ運動などに取り組んでいる。リングプルは一定量で車いすと交換できるという。

この日は全校児童が体育館に集まり、学級委員7人が小分けしたエコキャップを生徒会に手渡した。学級委員長の濱野かりんさん(6年)は「世界の困っている人のためになれば」。生徒会の松井玲菜副会長は「これからも一緒に支援活動に取り組みましよう」と連携を呼び掛けた。

(鞠子理人)